

四谷大塚	4年						
	算数						
学習内容	1回 小数と分数①2回 分配とやりとりの問題③3回 円と正多角形④4回 立方体と直方体の体積						
家庭学習ポイント	9月第1回は「小数と分数」です。夏期講習で小数と分数のおもな計算は学んでしまっているので、今回は応用問題的な内容です。まずは小数と分数の関係を理解することを学びます。「小数⇒分数」「分数⇒小数」の換算を素早く正確にできるように練習します。特定のもの「 $1/2=0.5$ 」「 $1/4=0.25$ 」「 $3/4=0.75$ 」「 $1/8=0.125$ 」「 $3/8=0.375$ 」「 $5/8=0.625$ 」「 $7/8=0.875$ 」についてはすぐに換算できるようにしておくことが望ましいですが、一方で「丸覚え」しないように注意してください。分数の複雑なかけ算、わり算、整数・小数・分数の混合計算などについても学習します。2回「分配とやりとりの問題」では、分配算では線分図、やりとり算では流れ図（フローチャート）を必ず書いて考えることがポイントです。「頭の中だけでできるくらい簡単な問題だ」と思う問題でも書くことが重要で、以後図を書くことを端折ると、いずれ間違ってしまうようになります。3回からは図形の学習です。「円と正多角形」ではおもに角度の問題、「立方体と直方体の体積」は体積計算です。煩雑な計算でミスが出ないよう「1問を解ききるまでの集中力」を意識しましょう。						
課題の把握と解決策	チェック1	「小数⇔分数」の換算を素早く、正確にできていますか？					チェック
	解決策	「 $1/2$ は1の半分だから0.5」「 $1/4$ は $1/2$ の半分だから0.25」といった感覚を鍛えるのが大事です					□
	チェック2	分数計算の途中で約分をできるだけ行っていますか？					チェック
	解決策	「後でやっても一緒」ではありません。数字が大きくなっている分ミスが多くなります					□
	チェック3	分配算、やりとり算では必ず図を書いて考えていますか？					チェック
	解決策	「難しい問題なら図を書く」では「意外に難しい」問題でつまづくことになります					□
	チェック4	円と正多角形の問題では、つねに円の半径を意識できていますか？					チェック
	解決策	円の半径はつねに同じ長さですから、二等辺三角形などを見つける手がかりになります					□
	チェック5	立体の体積計算で「やり方は合っているのに…」が多くはないですか？					チェック
解決策	せっかくやり方が分かっても計算ミスをしては水の泡。解ききるまでの集中力を意識しましょう					□	
四谷大塚	4年						
	国語						
学習内容	1回 物語・小説（9）人の気持ち⑤ 品詞分類表 名詞 和語①②2回 物語・小説（10）人の気持ち⑥ 動詞 慣用句①③3回 説明文・論説文（9）話のつながり③ 形容詞 形容動詞 三字の熟語③4回 説明文・論説文（10）話のつながり④ 副詞 文の基本型 四字の熟語						
家庭学習ポイント	読解は1回、2回が物語・小説、3回、4回が説明文・論説文となります。1回では「祖母に対する不満」「島の暮らしに対する不安」2回では「期待からの落胆を乗り越える」「2人の主人公の対立と和解」といったテーマで、登場人物の心情の読み取りの練習を行います。そろそろ「読んで内容がわかるので、なんとなく問題に答えている」状態では危険な時期になってきています。たとえばそのような読み方をしていると、選択問題でも「2つには絞り込めたが、どちらが正解か判断がつかない」といった状態になるように、問題が高度になってきているからです。常に「文章中に〇〇とあるから、どちらかといえばこちらが適している」といった説明ができるよう常に「本文に帰る」読み方を心がけていくようにしましょう。その意味でも、塾の国語の授業があった日には「今日はどんなことを習った？」と声かけをして、具体的な答えが返ってくるか確認してみましょう。3回、4回は説明文・論説文で、文と文、段落と段落の関係を考えながら読んでいく訓練です。特に4回の文章は「説明型」で筆者の考えが読み取りにくいので、丁寧に文章を追っていくことが大切です。このように、テキストの文章レベルはだんだん上がってきています。						
課題の把握と解決策	チェック1	物語文では場面の变化、情景描写から登場人物の心情を読み取ることができていますか？					チェック
	解決策	文章中に示されている「手がかり」を答えられるようにしておくことが大切です					□
	チェック2	心情を答える際、その主体が「自分」になっていませんか					チェック
	解決策	登場人物に感情移入しすぎるのは危険です。本文の表現に理由を求める習慣をつけましょう					□
	チェック3	語彙を増やす努力をコツコツ続けていますか？					チェック
	解決策	わからない言葉があると読むのに時間がかかり、正確さもなくなります					□
	チェック4	「今日の授業で〇〇ができるようになった」と答えられますか？					チェック
	解決策	問題の正解、不正解より上記を重視してみてください					□
	チェック5	9月の連休の使い方は決まっていますか？					チェック
解決策	学習に使いたい時間があるなら、前もってお子さんと共有しておきましょう					□	

四谷大塚	4年							
	理科							
学習内容	1回 ヒトのからだ ¹ 2回 秋の生物 ² 3回 電気 (1) ³ 4回 電気 (2)							
家庭学習ポイント	1回「ヒトのからだ」では、まずはセキツイ動物のからだの作りの特徴、他の種類の生物（無セキツイ動物）との違いを学習します。特にセキツイ動物の分類（魚類・両生類・は虫類・鳥類・哺乳類）と、おもな無セキツイ動物の分類（節足動物・軟体動物など）について整理しておくことが重要です。人体については骨格や目、耳などの感覚器官、その他の器官について学習します。特に骨格については「縫合」「関節」「軟骨接合」など特徴的な骨どうしのつながりについて理解しておくことが重要です。2回「秋の生物」では、植物の種の運ばれ方、紅葉、秋になると鳴く虫（コオロギやキリギリスなど）とその鳴き声、渡り鳥に関する知識など、知っておくべきことが多岐にわたります。「とにかく覚える」という姿勢では、知識をつけることそのものが「苦行」となってしまいます。予習シリーズの写真や図版はもちろん、図鑑やインターネット、動画なども活用して立体的に「秋」という季節を感じられるよう工夫しましょう。3回、4回は電気についての学習です。高学年ほど本格的な思考、計算問題はまだ出てきませんが、「電圧（乾電池）＝電気を流そうとするポンプ」「電流＝ホース（導線）の中を流れる電気」「豆電球（電気抵抗）＝電気が流れにくく、無理やり流すと明るく熱くなる」といったイメージを付けておくことが重要です。							
課題の把握と解決策	チェック1	セキツイ動物の分類、間違いやすいものについて正しい知識がついていますか？						チェック
	解決策	「コウモリは空を飛ぶが、子を生んで乳を与えて育てるので鳥類ではなく哺乳類」という具合です						□
	チェック2	夏鳥、冬鳥の代表的なものが答えられますか？						チェック
	解決策	夏鳥：ツバメ・カクコウ・ホトトギス 冬鳥：ハクチョウ・ガン・カモ などですね						□
	チェック3	もみじ（カエデ）、イチヨウなどの紅葉を実際に見たことはありますか？						チェック
	解決策	あらためて観察に出かけてみるのもいいですね						□
	チェック4	豆電球の直列、並列と流れる電流の大きさについて、正しく答えられますか？						チェック
	解決策	「直列＝流れにくい道が長くなる」「並列＝流れにくい道が広くなる＝流れやすい」と考えましょう						□
	チェック5	乾電池の直列、並列と流れる電流の大きさについて、正しく答えられますか？						チェック
	解決策	「直列＝電池のパワーが大きくなる」「並列＝電池のパワーは1個と変わらない」と考えましょう						□
四谷大塚	4年							
	社会							
学習内容	1回 ふるさとじまん (1) ～北海道・東北地方 ¹ 2回 ふるさとじまん (2) ～関東地方 ² 3回 ふるさとじまん (3) ～中部地方 ³ 4回 ふるさとじまん (4) ～近畿地方							
家庭学習ポイント	「予習シリーズの」下巻の1回～4回は「ふるさとじまん」として、地方別に各県の特徴を学習が始まります。1回は「北海道・東北地方」2回は「関東地方」3回は「中部地方」4回は「近畿地方」となります。各県の重要な地名はもちろん、特産物や建築物、伝統的工芸品、観光の特色（日本三景等）などについて学習します。これまでの地理学習に比べて速いテンポで進んでいく（1ヶ月半で日本全国を網羅してしまいます）ため、学習が追いつかず「地理はわからない、嫌い」となってしまわないよう、1学期同様でいねいに進めていきましょう。もちろんそれぞれの地方、今学習している土地が日本のどこにあるのか、地図帳や白地図を活用しながら学習していくのもこれまで通りです。とはいえ量が多いので、たとえば予習シリーズを参考に、あらかじめ主要な土地については白地図を完成させてから家庭学習に取りかかるなど、工夫して乗り切っていきましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	「北海道・東北地方といえば？」という問いに豊富な答えが返ってきますか？						チェック
	解決策	「やはりこの地方といえば稲作」といったイメージがたくさんあるといいですね						□
	チェック2	近郊農業について正しく説明できますか？						チェック
	解決策	千葉県や茨城県の野菜全国1位の品目、群馬県嬬恋村の抑制栽培などカバーしたいですね						□
	チェック3	中部地方を流れる河川について、名前と位置を把握できていますか？						チェック
	解決策	富士川・大井川・天竜川・木曽川・長良川・揖斐川・信濃川など多いですが重要です						□
	チェック4	琵琶湖から流れ出て滋賀県、京都府、大阪府を経て海に流れ込む河川の名前を答えられますか？						チェック
	解決策	瀬田川（滋賀県）、宇治川（京都府）、淀川（大阪府）と名前を変えて大阪湾に流れ込みます						□
	チェック5	社会の学習に地図帳、白地図を活用していますか？						チェック
	解決策	特に白地図は自分で作ると繰り返し入試まで活用でき、おすすめです						□